

営農情報

2018
8月号 No.71



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

米原支店・近江支店管内担当 谷城 敏生
携帯 080-4761-6531

今月の話題

- ◆ 猛暑を乗り切る収穫までの管理・対策
- ◆ 米袋の表示について
- ◆ 農政ダイジェスト

農家所得増大
"コシヒカリプレミア88"
チャレンジ!

病害虫防除所発表
斑点米カメムシ類
発生量 平年並

メモ

異常気象!?

猛暑・豪雨「30年に1度」級

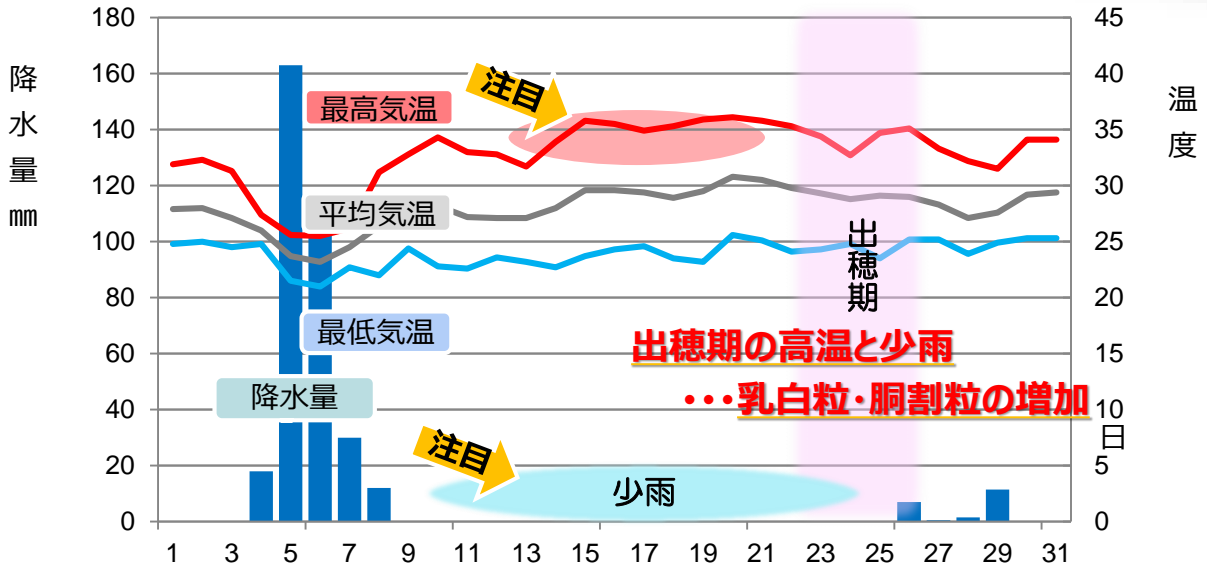
- ✓ 圃場の管理はもちろん体調管理にも気をつけて作業をお願いします。
- ✓ 土づくり資材“田華の豊稲”
注文書8月中旬に配布予定



斑点米カメムシ類発生調査を行いました。米原・近江管内の一部圃場においてカメムシが発生していました。ほ場にカメムシ類を寄せ付けないために継続して畦畔の除草を行いましょう。

2018年7月の気象について

7月9日～25日は雨が降らず、気温も35度を超える猛暑日が続きました。



今後高温が続くと…



乳白粒

シラタが生じる仕組み

玄米中のデンプンはモミの中で、

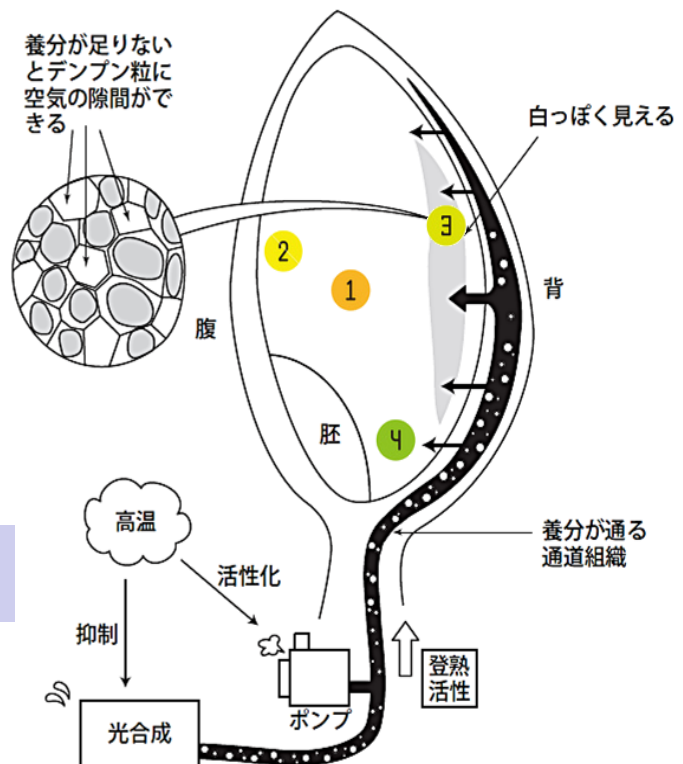


デンプンを送り込むポンプの性能 (= 登熟活性) に比べて送るべき養分が足りなくなると…

モミのデンプン細胞に空気の間隙が生じます。

空気の間隙があると、光が乱反射されて白く見える。

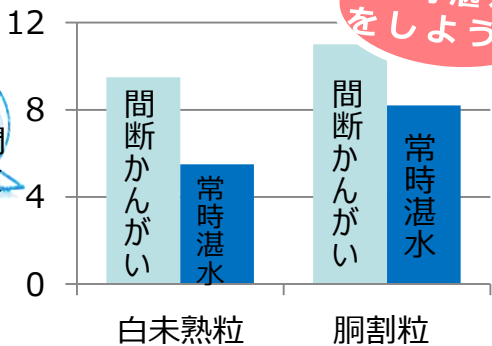
- ① では心白 ② では腹白
- ③ では背白 ④ では基白



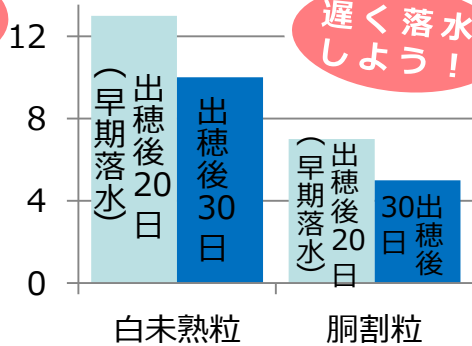
適切な水管理

品質の悪いお米の割合 (%)

水管理について



落水時期について



ガドミウム吸収抑制対策として出穂後3週間の湛水管理の徹底しましょう。

常時湛水をしよう!

遅く落水をしよう!

- ✓ 出穂前後3週間は湛水管理を実施する。
- ✓ 高温時の気象条件化では、こまめに入水し地温を低下。
- ✓ 収穫作業に支障が無い程度に落水を遅らせる。

適期を予測し、刈遅れの無いようにしましょう

出穂期からの予測

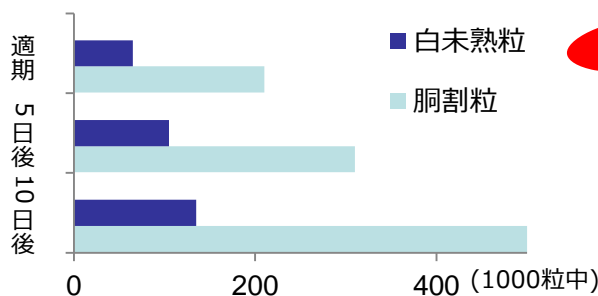


【登熟日数の考え方】コシヒカリの場合、登熟日数は積算温度を900℃～950℃で計算します。
(例)平均気温28℃ × 33日 = 924℃ ※H29年は32日でした。

籾黄化率からの予測



刈り遅れと品質の関係 (%)



注意

適期より10日遅れる事で

白未熟粒 約2.1倍増加

胴割粒 約2.5倍増加

- ✓ 適期予測をし、収穫に向けての準備を整える。
- ✓ 今年のような高温年には登熟日数が短くなる傾向にあるため刈遅れに注意。

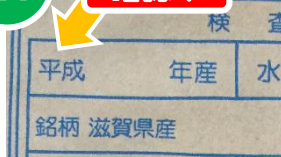
米袋の表示について

現在の天皇陛下が平成31年4月30日に退位されます。翌日5月1日に皇太子様が新天皇に即位され、新たな元号に改められる事から、検査証明の年産欄等の表示方法についてご紹介します。

これまでに紙袋に印刷された検査証明欄の年産欄の表示については、和暦で「平成〇年産」となっていました。「平成」標記がある紙袋につきましては、できるだけ今年で使い切って頂くようお願いします。

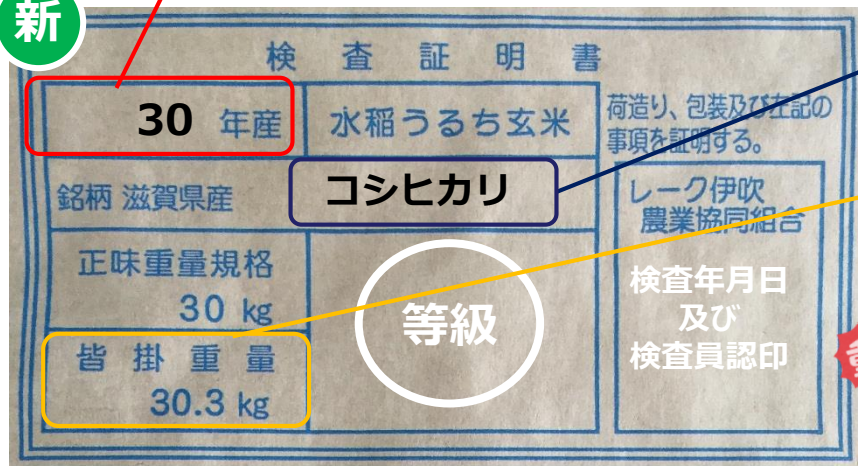
旧

確認!



表示方法 30年産(元号省略可能) または 平成30年産

新



滋賀県に設定されている銘柄のみ表示可能です。

消費者(実需者)に渡った時点で30kg必要ですので皆掛重量は検査に必要な重さと保管中の目減りを加味し、30,6kgにして下さい。

重要!

鮮明な押印、記載等記入欄の枠外にはみ出さない!

ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

~定価(税込)606円 購読申込受付中~

TPP関連法が成立

TPP関連法が、参院本会議で可決、成立した。TPP関連法案は、アメリカを含めた当初の関連法のうち、すでに施行されている改正地理的表示法(GI法)を除いた10法の施行期日を、TPP11の発行日に改正するもの。TPP11の国内手続きには協定の国会承認と関連法の成立が必要だったが、これにより日本は全ての国内手続きを終えたことになる。

GAPの研修をネットで受講可能に

農業生産工程管理(GAP)に関する研修について、農水省のウェブサイトから受講可能になった。GAPにたいする理解度を問うテストを受ければ、研修の受講を証明する修了証がダウンロードできる。ウェブサイトのアドレスは<http://gap.maff.go.jp/>

もち米の作付けが減少

もち米の主産地の多くが、18年産の作付けより減らしていることが、農水省の調べでわかった。秋田県、千葉県、新潟県の3県で作付けが減少。一方、北海道と佐賀県では前年並みを維持する見込み。

レク伊吹の動き

JA改革・自己改革研修会を開催

政府が推し進める農協改革の行方と、私たちJAが自らが取り組むべき自己改革について、講師を招いて7月11日、12日の2日間で研修会を開催した。全役員、全職員が組合員みなさまの声に基づいた情報を共有して共通認識を持ち、JAの業務運営に従事する役割を改めて再認識した。

お知らせ
9月訪問
について

9月は近江カントリーに勤務しております。定期訪問にお伺いできませんので、予めご了承ください。



080-4761-6531

お問い合わせ等ございましたら、お気軽にケータイにご連絡下さい。

